

※鉛筆で丁寧になぞり書きしましょう。

私の

枚目

平安の心

夏は夜。

月のころはさらなり

闇もなほ、

蛍の多く飛びちがひたる

また、ただ一つ二つなど、

ほのかにうち光りて

ゆくもをかし。

雨など降るもをかし。

清少納言「枕草子」より

【口語訳】

夏は夜がよい。月のある夜は言うまでもないが、夜でもやはり、蛍がたくさん飛び交っている様子は趣がある。また、ほんの一つ二つほど、ほのかに光って飛んでいくのも風情がある。そこへ雨などが降りかかるのも、味わい深い。

※清少納言：平安時代に活躍、紫式部と並ぶ女流作家

枕草子：清少納言によって書かれた随筆 三大随筆の一つ